



## 地球温暖化対策は急務なのに・・・

一九九七年の「京都議定書」で先進国に温室効果ガスの削減を義務づけたが、米国は離脱。一方ヨーロッパ諸国は削減に奮闘。太陽光、風力、地熱、バイオマス等、再生可能エネルギー利用を推進。

日本はかけ声だけ。地熱エネルギーが豊富な日本でその利用は進んでいない。風力、太陽光に至っては、新設を制限する状態。

### 安倍首相は

今、パリで気候変動枠組みについてCOP21が開かれている。安倍首相は「官民で年一兆三千億円の気候変動対策を実施。緑の基金に来年25億ドル拠出。水素に関する技術開発・・・」と演説。しかし、炭酸ガス削減には触れない。「日本は炭酸ガス排出を減らさない。

外国に援助、大企業の仕事を増やすだけ」が本音か。日本では本年四月で43ヶ所の石炭火力新設を計画。石炭火力は石油より三割炭酸ガス排出が多いのに。

### 安倍は原発推進だが

ドイツメルケル首相は「福島は現実には起これると思えない事が起きる事だ。だから原発を決定した。そして風力発電を推進。廃棄物を発酵させたメタンで、発電。消費電力の二倍を発電と云う農村もある。

安倍首相は「福島の放射能はコントロールされている」と国際オリンピック委員会ですついた嘘を繰り返して「原発再稼働で炭酸ガス削減」とは云えなかったのだろう。みなさんはどう思われますか？

## 紅葉の洗足池

二〇一五年十一月



二〇一一年夏にも写生会でこの洗足池に来ている。十一月の末、池の畔のいちようは黄色く色づいていた。

土曜日とあって、小さい子を連れた若い人達が多い。白鳥の形をした足こぎボートが何艘も出ていた。

池には様々な水鳥が来ている。その鳥たちを観察している男性に、水鳥を教えてもらった。大きいのがアイガモ。鴨とアヒルの混血だそう。黒く、小さいのがキンクロハジロ。オナガガモ、コガモなどが岸近くを泳いでいる。

カルガモは遠くに泳いで行ってしまった。時にはカワセミも来ると云う。大きな望遠レンズをつけたカメラを抱え、じっとチャンスを到来を待っている若い女性も・・・